

鶴岡工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)	授業科目	日本学特論
科目基礎情報					
科目番号	0030		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	専攻科一般科目・共通専門科目		対象学年	1	
開設期	後期		週時間数	2	
教科書/教材					
担当教員	山田 充昭				
到達目標					
日本古代の歴史的事象の大局を把握し、各歴史的事象の間にある因果関係を考察できる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
基礎的な歴史事象の認識する力	日本古代における歴史事象を深く認識しており、当時の政治・社会情勢の概要を説明することができる。		日本古代における歴史事象を深く認識している。		左記ができない。
歴史事象間の因果関係の考察する力	日本古代の政治・社会情勢がどのような事件を引き起こし制度を生み出したか、またその制度や事件が、以後にどのような政治・社会現象を起こす原因となっているか、その経緯脈絡を説明することができる。		日本古代の政治・社会情勢を特徴づけている要因を説明することができる。		左記ができない。
学科の到達目標項目との関係					
(B) 地球的視野と技術者倫理を身につける。 B-1					
教育方法等					
概要	ゼミナール形式				
授業の進め方・方法	ゼミナール形式。レポーターを決めて発表を行い、出席者間でディスカッションを行う。				
注意点	レポーターは発表に際してレジメを作成すること。レポーター以外の受講者も積極的にディスカッションに参加すること。				
事前・事後学習、オフィスアワー					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	日本古代の外交 I		
		2週	日本古代の外交 II		
		3週	日本古代の外交 III		
		4週	日本律令制度 I		
		5週	日本律令制度 II		
		6週	日本律令制度 III		
		7週	日本古代の社会問題 I		
		8週	日本古代の社会問題 II		
	4thQ	9週	日本古代の社会問題 III		
		10週	日本古代の環境 I		
		11週	日本古代の環境 II		
		12週	日本古代の環境 III		
		13週	日本古代の思想 I		
		14週	日本古代の思想 II		
		15週	日本古代の思想 III		
		16週			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章を読み、論理の構成や展開の把握にもとづいて論旨を客観的に理解し、要約し、意見を表すことができる。また、論理的な文章の代表的構成法を理解できる。	4
				代表的な文学作品を読み、人物・情景・心情の描写ならびに描写意図などを理解して味わうとともに、その効果について説明できる。	4
				文学作品について、鑑賞の方法を理解できる。また、代表的な文学作品について、日本文学史における位置を理解し、作品の意義について意見を述べることができる。	4
				現代日本語の運用、語句の意味、常用漢字、熟語の構成、ことわざ、慣用句、同音同訓異義語、単位呼称、対義語と類義語等の基礎的知識についての理解を深め、その特徴を把握できる。また、それらの知識を適切に活用して表現できる。	4
				代表的な古文・漢文を読み、言葉や表現方法の特徴をふまえて人物・情景などを理解し、人間・社会・自然などについて考えを深めたり広げたりすることができる。	4
				代表的な古文・漢文について、日本文学史および中国文学史における位置を理解し、作品の意義について意見を述べることができる。また、それらに親しもうとすることができる。	4

			教材として取り上げた作品について、用いられている言葉の現代の言葉とのつながりや、時代背景などに関する古文・漢文の基礎的知識を習得できる。	4	
			社会で使用される言葉を始め広く日本語を習得し、その意味や用法を理解できる。また、それらを適切に用い、社会的コミュニケーションとして実践できる。	4	

評価割合

	試験	発表	相互評価	討論	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	40	40	0	20	0	0	100
基礎的能力	30	30	0	10	0	0	70
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	10	10	0	10	0	0	30